一般国道２３号　中勢道路

埋蔵文化財発掘調査概報２６

（平成２６年度調査）

２０１６．２

三重県埋蔵文化財センター

一般国道23号　中勢道路　埋蔵文化財発掘調査概報26（平成26年度調査）

三重県埋蔵文化財センター

例　　言

1　本書は、三重県が国土交通省中部地方整備局から委託を受けた一般国道２３号中勢道路建設予定地にかかる平成２６年度の埋蔵文化財発掘調査の概要報告書である。

2　調査にかかる費用は、国土交通省中部地方整備局の負担による。

3　調査の体制は下記のとおりである。

・調査主体　三重県教育委員会

・調査担当　三重県埋蔵文化財センター

調査研究２課

課　　長　田中久生

主　　幹　長谷川哲也

主　　査　原田恵理子

室内整理員　黒川敬子　太田浩子　森川絹代

北岡佳代子　山口香代

・土工作業受託機関　西武緑化有限会社（森ヶ坪遺跡第３次調査）

西武緑化有限会社（大野南遺跡第１次調査）

西武緑化有限会社（小塚遺跡・石垣遺跡第１次調査）

株式会社文化財サービス（西毛谷北古墳・西毛谷Ａ遺跡第１次調査）

安西工業株式会社（西毛谷Ａ遺跡第３次調査）

4　本書で用いた座標は、世界測地系による測量法の第Ⅵ座標系を基準とし、方位は座標北を示す。

5　本書では、小山正忠・竹原秀雄編著『新版標準土色帖』２２版（日本色研事業株式会社　１９９９年）を使用した。

6　本書に用いた遺構表示略記号は、以下の通りである。

ＳＤ：溝　　ＳＫ：土坑

目　　次

Ⅰ　前言 ……（長谷川）…… 1

Ⅱ　森ヶ坪遺跡（第３次）……（原　田）…… 8

Ⅲ　西毛谷Ａ遺跡（第３次）……（長谷川）…… 10

Ⅳ　小塚遺跡（一次）……（長谷川）…… 14

Ⅴ　石垣遺跡（一次）……（長谷川）…… 15

Ⅵ　大野南遺跡（一次）……（原　田）…… 16

Ⅶ　西毛谷北古墳・西毛谷Ａ遺跡（一次）……（原　田）…… 17

Ⅰ　前　言

１　中勢バイパスと埋蔵文化財保護

中勢バイパスは、三重県中勢地域の道路網を充実させるとともに、交通緩和とバイパス周辺の適切な土地利用を図り、地域の経済発展に寄与するために、一般国道23号のバイパスとして計画された鈴鹿市北玉垣町から松阪市小津町までの延長33.8kmの道路である。当事業地内における埋蔵文化財の保護取り扱いについての協議は昭和58年から行われているが、その詳細については各概報に記載されているので参照されたい。

２　平成26年度の現地調査

埋蔵文化財発掘調査業務の委託契約は、国土交通省中部地方整備局長と三重県知事との間で４月１日に締結した。契約期間は平成26年４月１日～平成27年３月31日である。

平成26年度の調査工程や具体的方法について、４月８日に国土交通省三重河川国道事務所と三重県埋蔵文化財センターで協議を行った。その後、次年度の調査にむけて、用地取得状況や調査計画についての協議を８月28日に行った。

現地調査としては、平成26年６月から７月に森ヶ坪遺跡の第３次調査、平成26年７月に大野南遺跡の一次調査、平成26年９月に西毛谷北古墳・西毛谷Ａ遺跡の一次調査、平成26年10月に小塚遺跡・石垣遺跡の一次調査、平成26年10月から平成27年２月に西毛谷Ａ遺跡の第３次調査をそれぞれ行った。

森ヶ坪遺跡は、調査面積325㎡で、今回の調査をもって終了した。

大野南遺跡は、調査対象範囲4,500㎡、調査面積400㎡である。今回の調査では遺構・遺物は確認されず、以後の調査は不要と判断した。

西毛谷北古墳・西毛谷Ａ遺跡は、調査対象範囲11,000㎡、調査面積1,100㎡である。今回の調査で、6,000㎡が二次調査必要と判断した。

小塚遺跡は、調査対象範囲400㎡、調査面積40㎡である。今回の調査で、300㎡が二次調査必要と判断した。24年度の調査結果と合わせて1,000㎡が二次調査の対象範囲である。

石垣遺跡は、調査対象範囲2,800㎡、調査面積210㎡である。今回の調査で、2,800㎡が二次調査必要と判断した。したがって、24年度の調査結果と合わせて、現在のところ、6,800㎡が二次調査の対象範囲である。

なお、400㎡の未調査範囲が残っている。

西毛谷Ａ遺跡については、調査対象範囲のうち、1,516㎡の第３次調査を行った。

３　平成26年度の整理作業と報告書作成

25・26年度に現地調査を実施した森ヶ坪遺跡の遺物実測、自然科学分析、写真撮影、調査現場の図面・写真整理など、報告書作成に向け資料整理を鋭意行った。また、『相川西方遺跡』の報告書及び概報25を刊行した。

写真１　木製品（森ヶ坪遺跡出土）写真撮影

写真２　木製品（森ヶ坪遺跡出土）実測

４　遺跡の新発見

西毛谷Ａ遺跡

津市教育委員会によって行われた民間開発に伴う確認調査により、新たな埋蔵文化財包蔵地が認められたため、平成 26 年３月３日付、津市生第 2937 号にて三重県教育委員会教育長あてに、遺跡発見の届が提出された（西毛谷Ａ遺跡）。したがって７工区の道路幅杭Ｎ o.442 から 443 付近の東西方向に延びる尾根上の範囲には、西毛谷北古墳及びそれを包括する西毛谷Ａ遺跡が所在することとなる。

西毛谷北１号墳・西毛谷北２号墳

平成 27 年３月 20 日付津市生第 2852 号で津市教育委員会教育長から、西毛谷Ａ遺跡内で新たに遺跡発見の届が提出された（西毛谷北１号墳・西毛谷北２号墳）。

５　西毛谷Ａ遺跡の調査次数と今後新たに古墳が発見された場合の名称

西毛谷Ａ遺跡二次調査の次数については、津市教育委員会と協議した結果、下記のとおりとした。

西毛谷Ａ遺跡第２次調査（平成 26 年度、津市教育委員会が実施）

西毛谷Ａ遺跡第３次調査（平成 26 年度、三重県埋蔵文化財センターが実施）

西毛谷Ａ遺跡第４次調査（平成 27 年度、三重県埋蔵文化財センターが実施）

また、西毛谷Ａ遺跡内で今後新たに古墳が見つかった場合については、津市教育委員会と協議した結果、西毛谷北３号墳以降の名称を付与することとする。

工区	番号	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	担当者
4	1	小塚遺跡	鈴鹿市北玉垣町	40㎡	平成26年10月14日 ～ 平成26年10月14日	田中久生
	2	石垣遺跡	鈴鹿市末広北１丁目	210㎡	平成26年10月15日 ～ 平成26年10月17日	田中久生
7	11	森ヶ坪遺跡	鈴鹿市御薗町、越知町	325㎡	平成26年6月5日～ 平成26年7月29日	長谷川哲也 原田恵理子
	14	大野南遺跡	鈴鹿市郡山町	400㎡	平成26年7月18日～ 平成26年8月7日	長谷川哲也 原田恵理子
	67	西毛谷北古墳	津市河芸町杜の街	1,100㎡	平成26年8月22日 ～ 平成26年9月18日	長谷川哲也 原田恵理子
	69	西毛谷Ａ遺跡	津市河芸町杜の街	1,516㎡	平成26年10月17日 ～ 平成27年2月12日	長谷川哲也 原田恵理子
合　計				3,591㎡		

第１表　平成 26 年度中勢バイパス発掘調査遺跡一覧

4 工区 L=2.85km

5 工区 L=1.80km

6 工区 L=2.30km

7 工区 L=2.90km

8 工区 L=5.00km

9 工区 L=4.35km

10 工区 L=2.85km

11 工区 L=1.95km

12 工区 L=3.10km

13 工区 L=3.90km

14 工区 L=2.80km

中勢バイパス L=33.8km

1. 小塚遺跡
2. 石垣遺跡

3. 池ノ下Ⅱ遺跡　5. 甲懸Ⅱ遺跡
4. 野田浄土池遺跡

6. 稲生遺跡　9. 拝原遺跡
7. 南谷遺跡　10. 高井A遺跡
8. 間瀬口遺跡

11. 森ヶ坪遺跡　14. 大野南遺跡
12. 東谷遺跡　67. 西毛谷北古墳
13. 船ヶ谷 A 遺跡　69. 西毛谷 A 遺跡

15. 成瀬A遺跡　20. 内垣内遺跡
16. 成瀬B遺跡　21. 天堤古墳
17. 稲降遺跡　22. 河崎遺跡
18. 丸市遺跡　23. 六大A遺跡
19. 山王遺跡

24. 六大B遺跡　32. 門脇北古墳
25. 橋垣内遺跡　33. コウゼンジ遺跡
26. 大古曽遺跡　34. 宮ノ前遺跡
27. 新池2号墳　35. 森山東遺跡
28. 新池1号墳　36. 太田遺跡
29. 西岡1号墳　37. 松ノ木遺跡
30. 西岡2号墳　65. 長遺跡
31. 山籠遺跡

38. 蔵田遺跡　42. 里前遺跡
39. 位田遺跡　43. 鎌切5号墳
40. 替田遺跡　66. 梁瀬遺跡
41. 弐ノ坪遺跡

68. にんごう古墳群　46. 上はんの木古墳
44. 大釜南古墳　47. 藤谷窯跡群
45. 鳥羽見城跡

48. 相川西方遺跡　51. 東山神遺跡
49. 丸地遺跡　52. 本宮遺跡
50. 城ノ越遺跡

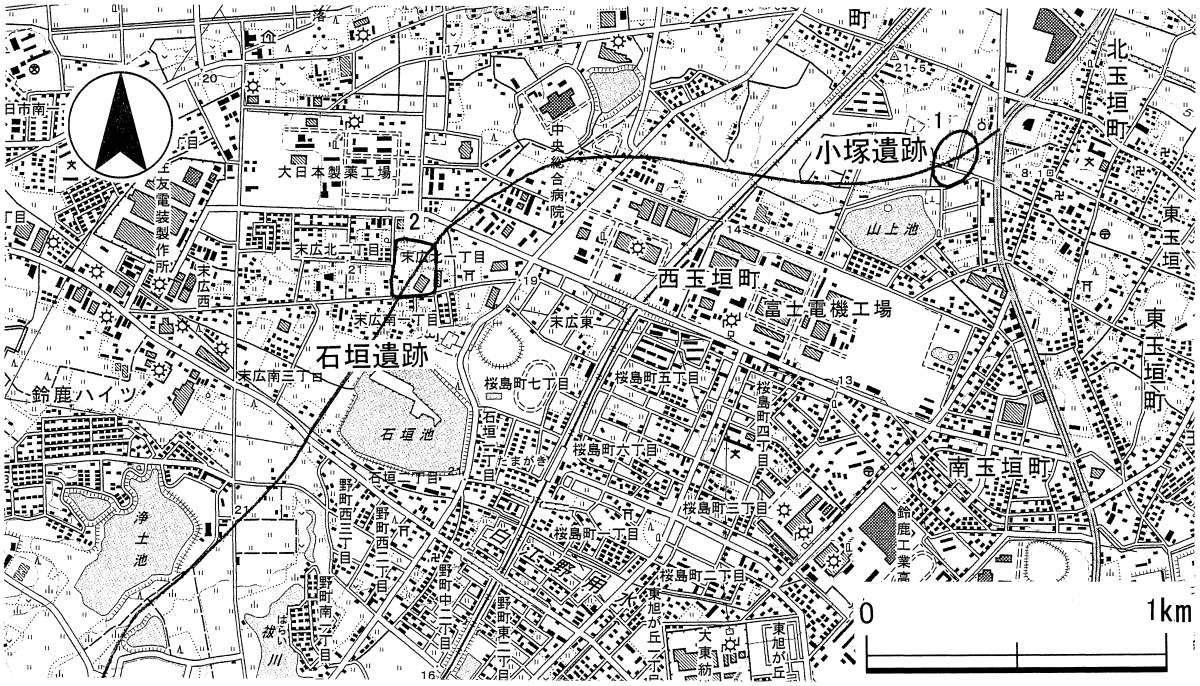
53. 向山遺跡　57. 舞出北遺跡
54. 池新田遺跡　58. 舞出南遺跡
55. 木造赤坂遺跡　59. 赤部遺跡
56. 井手ノ上遺跡　60. 筋違遺跡

60. 筋違遺跡　63. 中林・中道遺跡
61. 柏木遺跡　64. 小津遺跡
62. 横堤遺跡

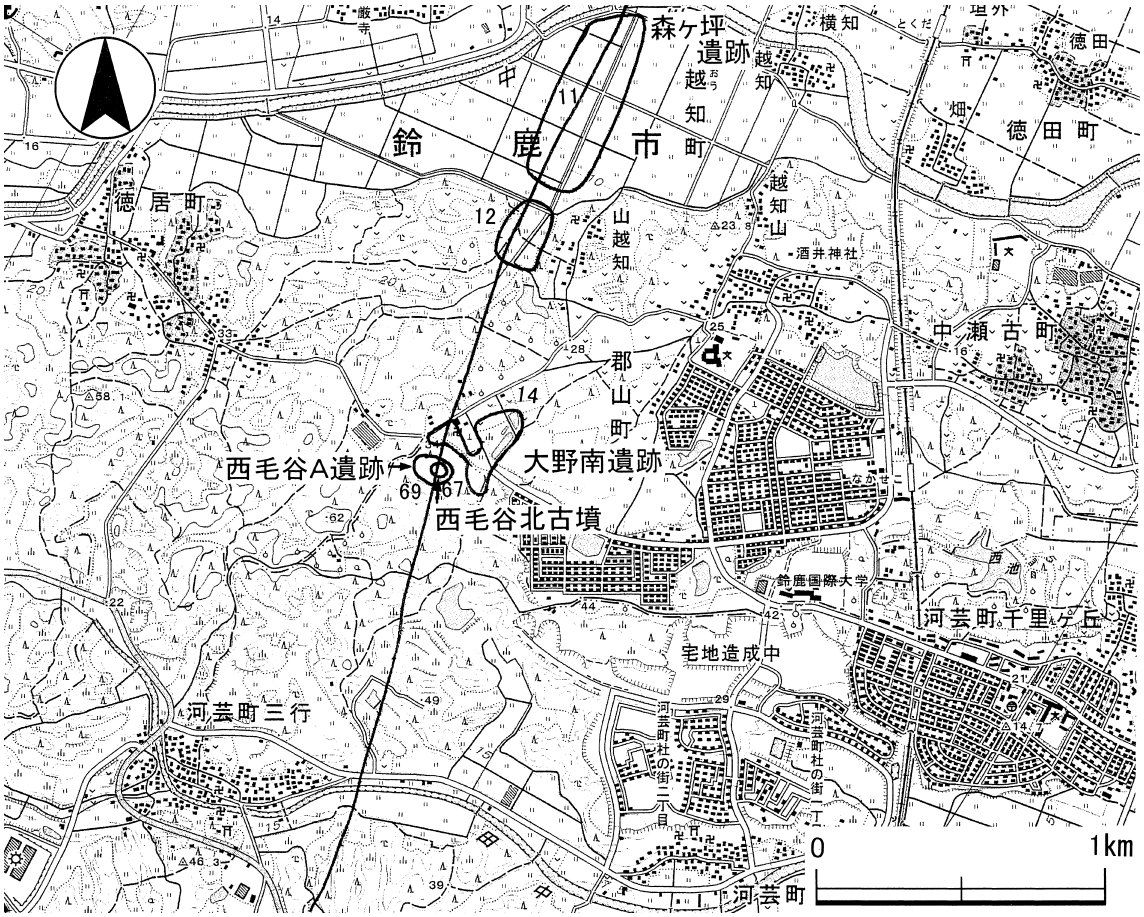
凡 例
- ･･･26 年度調査実施箇所
- ･･･調査済み箇所
- ･･･未調査箇所（一部未調査を含む）

（縮尺は任意）

第 1 図　中勢バイパス路線内遺跡位置図



第２図　中勢バイパス（4 工区付近）遺跡位置図（1：25,000）（国土地理院 1：25,000『鈴鹿』）



第３図　中勢バイパス（7 工区付近）遺跡位置図（1：25,000）（国土地理院 1：25,000『白子』）

工区		遺　跡　名	所在地	対象面積（㎡）	調査面積（㎡）	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
4工区	1	小塚遺跡	鈴鹿市北玉垣町	3,000	240 0																									240		40	
	2	石垣遺跡	鈴鹿市末広北１丁目	11,000	660 0																									660		210	
小　計				14,000	900 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	900 0	0 0	250 0	
5工区	3	池ノ下Ⅱ遺跡 旧：池ノ下遺跡	鈴鹿市稲生町	17,000	1,300 0																1,300												※1
	4	野田遺跡	鈴鹿市稲生町	12,600	970 0																970												※1
	5	甲懸Ⅱ遺跡 旧：甲懸遺跡	鈴鹿市稲生町	6,200	1,150 2,650																1,150	2,650											※1 ※1
	—	浄土池遺跡	鈴鹿市稲生町	—	330 0																330												※1
小　計				35,800	3,750 2,650	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3,750 0	0 2,650	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0		
6工区	6	稲生遺跡 旧：稲生Ⅰ-4号窯	鈴鹿市稲生町	3,300	185 2,100				185	2,100																							
	7	南谷遺跡	鈴鹿市稲生町	4,000	176 1,300				176	1,300																							
	8	間瀬口遺跡	鈴鹿市徳田町	7,000	96 0					96																							
	9	拝原遺跡	鈴鹿市御園町	7,000	64 0					64																							
	10	高井Ａ遺跡	鈴鹿市徳田町	4,000	96 4,550					96			4,100	450																			
小　計				25,300	617 7,950	0 0	0 0	0 0	361 0	256 3,400	0 0	0 0	0 4,100	0 450	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
7工区	11	森ヶ坪遺跡	鈴鹿市御薗町越知町	27,000	2,240 6,897																									2,240	6,897	325	
	12	東谷遺跡	鈴鹿市越知町	11,000	640 0																									640			
		大野南遺跡	鈴鹿市郡山町	4,500	400 0																											400	
		西毛谷北古墳	津市河芸町杜の街	11,000	1,100 0																											1,100	
		西毛谷Ａ遺跡	津市河芸町杜の街	11,000	0 1,516																											1,516	
小　計				64,500	4,380 8,413	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2,880 0	0 6,897	1,500 1,841	
8－1工区	15	成瀬Ａ遺跡	津市河芸町三行	12,000	600 0																			600									
	16	成瀬Ｂ遺跡	津市河芸町三行	8,700	140 0																			140									
	17	稲降遺跡	津市河芸町三行	2,500	560 0																			260		300							
小　計				23,200	1,300 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1,000 0	0 0	300 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
8－2工区	18	丸市遺跡	津市河芸町南黒田	1,600	128 0						128																						
	19	山王遺跡	津市河芸町南黒田	3,700	128 0						128																						
	20	内垣内遺跡	津市河芸町南黒田	4,200	128 0						128																						
	21	天堤古墳	津市大里睦合町	900	55 0						55																						
	22	河崎遺跡	津市大里睦合町	10,600	256 0						256																						
	23	六大Ａ遺跡	津市大里窪田町	17,800	448 13,220						352	96 8,830	4,130	260																			
小　計				38,800	1,143 13,220	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1,047 0	96 8,830	0 4,130	0 260	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	

第２表－１　中勢バイパス発掘調査成果一覧

工区		遺　跡　名	所在地	対象面積（㎡）	調査面積（㎡）	S63	H元	H２	H３	H４	H５	H６	H７	H８	H９	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
9工区	24	六大Ｂ遺跡	津市大里窪田町	26,235	444	416				28																						
					26,235			17,525	3,420	3,350	1,270	670																				
	25	橋垣内遺跡	津市大里窪田町	12,000	176	176																										
					12,000		7,000	4,925	75																							
	26	大古曽遺跡	津市一身田大古曽	12,435	692	352		300		40																						
					12,435				5,160	240	7,035																					
	27	新池2号墳	津市一身田上津部田	—	198									198																		
					0																											
	28	新池1号墳	津市河辺町	—	20	20																										
					0																											
	29	西岡1号墳	津市河辺町	2,000	70				70																							
					2,000					2,000																						
	30	西岡2号墳	津市河辺町	—	30				30																							
					0																											
	31	山籠遺跡	津市河辺町	1,100	208	208																										
					1,100		1,100																									
	32	門脇北古墳	津市河辺町	1,100	0																											
					1,100		1,100																									
	33	コウゼンジ遺跡	津市河辺町	—	80	80																										
					0																											
	34	宮ノ前遺跡	津市長岡町	2,800	144	144																										
					2,800		2,700				100																					
	35	森山東遺跡	津市長岡町	5,230	240	240																										
					5,230	4,230	1,000																									
	36	太田遺跡	津市長岡町	3,320	469	469																										
					3,320	3,320																										
	37	松ノ木遺跡	津市安東町	7,800	144	144																										
					7,800		7,800																									
	65	長遺跡	津市河辺町	3,700	0																											
					3,700								3,700																			
小　計				77,720	2,915	2,249	0	300	100	68	0	0	0	198	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					77,720	7,550	20,700	22,450	8,655	5,590	8,405	670	3,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10工区	38	蔵田遺跡	津市納所町	12,800	1,356		608						748																			
					16,340							5,600	6,810	3,300			630															
	39	位田遺跡	津市北河路町	7,100	416		416											660														※2
					5,260									4,600																		
	40	替田遺跡	津市南河路	7,900	432		176							256																		
					10,830									6,620	4,210																	
	41	弐ノ坪遺跡	津市野田	5,700	320		320																									
					5,100										5,100																	
	42	里前遺跡	津市野田	3,000	256		160							96																		
					2,810											1,280						1,530										
	66	梁瀬遺跡	津市野田	—	1,152									474	678																	
					3,620											3,620																
	43	鎌切５号墳	津市神戸	—		昭和59年津市教育委員会が発掘調査																										
	68	にんごう古墳群	津市神戸		0																											
					2,919																									2,919		
小　計				36,500	3,932	0	1,680	0	0	0	0	0	748	826	678	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					46,879	0	0	0	0	0	0	5,600	6,810	14,520	9,310	4,900	630	660	0	0	0	1,530	0	0	0	0	0	0	0	2,919	0	0

第２表－２　中勢バイパス発掘調査成果一覧

工区		遺　跡　名	所在地	対象面積（㎡）	調査面積（㎡）	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
11工区	44	大釜南古墳	津市神戸	4,500	294																										294		
					0																												
	45	鳥羽見城跡	津市神戸	4,400	410																							410					
					0																												
	46	上はんの木古墳	津市神戸	1,600	190																							190					
					0																												
	47	藤谷窯跡群	津市半田	—	—	昭和50年津市教育委員会が発掘調査																											
小　計				10,500	894	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	600	0	0	294	0	
					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12工区	48	相川西方遺跡	津市 久居相川町	18,000	1,940																					1,000		940					
					8,742																						3,472	3,000	2,270				
	49	丸地遺跡	津市垂水	7,100	560																						560						
					0																												
	50	城ノ越遺跡	津市 久居小野辺町	16,300	1,430																						240	1,070	120				
					0																												
	51	東山神遺跡	津市 久居小野辺町	13,300	1,210																							1,030	180				
					0																												
	52	本宮遺跡	津市 久居野村町	11,300	1,600																						1,200	400					
					2,850																								2,850				
小　計				66,000	6,740	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	2,000	3,440	300	0	0	0	
					11,592	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,472	3,000	5,120	0	0	0	
13工区	53	向山遺跡	津市 高茶屋小森町	28,000	1,780																		1,380	400									
					2,393																				2,393								
	54	池新田遺跡	津市木造町	16,300	554																	554											
					1,961																				1,961								
	55	木造赤坂遺跡 旧：赤坂遺跡	津市木造町	17,500	1,192																	1,192											
					24,370																		6,570	11,500	6,300								
	56	井手ノ上遺跡	津市木造町	12,500	800																	800											
					370																			370									
	57	舞出北遺跡 旧：舞出遺跡	松阪市舞出町	9,600	960											810		150															
					11,170												4,090	3,380				3,700											
	58	舞出南遺跡 旧：松垣内遺跡	松阪市舞出町	16,300	1,200											1,200																	
					0																												
	59	赤部遺跡 旧：新屋庄遺跡	松阪市 嬉野新屋庄町	16,800	1,190													1,190															※3
					16,820																6,300	7,000	3,520										※3
	60	筋違遺跡	松阪市 嬉野新屋庄町	37,000	3,680													1,640				2,040											
					13,280														2,900				10,380										
小　計				154,000	11,356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,010	0	2,980	0	0	0	4,586	1,380	400	0	0	0	0	0	0	0	0	
					70,364	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,090	3,380	2,900	0	6,300	10,700	20,470	11,870	10,654	0	0	0	0	0	0	0	
14工区	60	筋違遺跡	松阪市 嬉野新屋庄町	—	770													770															
					5,410														5,410														
	61	柏木遺跡	松阪市 嬉野川北町	31,000	1,470													1,470															
					2,990															540	2,450												※3
	62	横堤遺跡	松阪市 嬉野津屋城町	21,500	1,140													1,140															
					0																												
	63	中林・中道遺跡 旧：狭間遺跡	松阪市中道町	18,600	1,010													1,010															
					8,470														1,040	5,240	2,190												
	64	小津遺跡 旧：東浦遺跡	松阪市小津町	23,000	1,424													1,190		84	150												
					11,220														280	3,780	7,160												
小　計				94,100	5,814	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,580	0	84	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
					28,090	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,730	9,560	11,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合　計				640,420	43,741	2,249	1,680	300	461	324	1,047	96	748	1,024	678	2,010	0	8,560	0	84	3,900	4,586	1,380	1,400	0	1,300	2,000	4,040	300	3,780	294	1,750	
					266,878	7,550	20,700	22,450	8,655	8,990	8,405	15,100	18,740	15,230	9,310	4,900	4,720	4,040	9,630	9,560	18,100	14,880	20,470	11,870	10,654	0	3,472	3,000	5,120	2,919	6,897	1,841	

上段：一次調査面積、下段：第２次以降の調査面積　　アミカケについては、※１：鈴鹿市（教育委員会）実施　※２：津市教育委員会実施　※３：松阪市（嬉野町）教育委員会実施

第２表－３　中勢バイパス発掘調査成果一覧

Ⅱ　森ヶ坪遺跡（第３次）

１　はじめに

森ヶ坪遺跡は、鈴鹿市御薗町、越知町に所在する遺跡である。遺跡は中ノ川南岸の沖積地に立地している。平成 25 年度に第２次調査を実施し、弥生時代の溝、井堰、井泉、古墳時代の溝等が確認されている①。第３次調査は、第２次調査の南西部に位置し、第２次調査で確認された溝ＳＤ 20、ＳＤ 21 がどの方位に走行するかに主眼を置いた調査となった。

２　調査の概要

【遺構と遺物】

ＳＤ 20

幅 1.1 m、深さ 25cm を測る。第３次調査区西側からやや北方へ蛇行し、第２次調査区へ東流する。

埋土からは、古墳時代前期を中心とした土師器台付甕（１～２）の他､杭などの木製品が出土している。

ＳＤ 21

幅 2.7 m、深さ 60cm を測る溝である。第２次調査区で確認した同溝よりも幅が狭く、浅くなっている。

埋土からは小型丸底壺（４・６）や直口壺（７）が出土している。概ね弥生時代後期から古墳時代前期にかけてのものである。

ＳＤ 301

調査区の北東側で確認した幅 0.6 m、深さ７cm の浅い溝である。向きは、前述のＳＤ 20、ＳＤ 21 と大きく異なる。出土遺物がなく、時期は不明である。

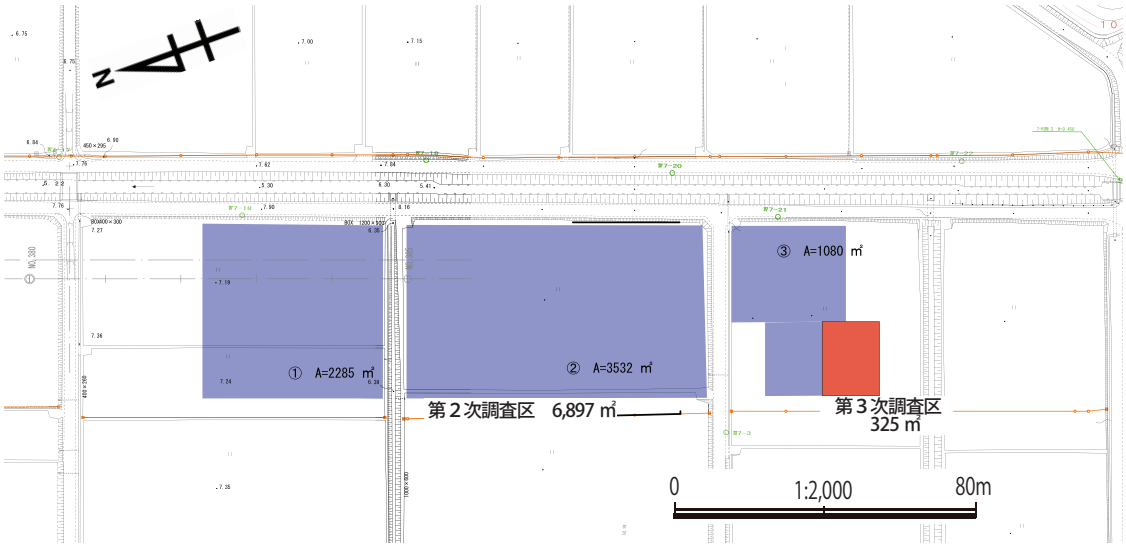
【まとめ】

今回の調査では、第２次調査で確認された溝ＳＤ 20、ＳＤ 21 の続きを確認した。ＳＤ 21 埋没後、ほぼ同じ場所に幅・深さの規模を減じてＳＤ 20 を形成した。ＳＤ 20、ＳＤ 21 共に第３次調査区では幅が狭く、東方に位置する第２次調査区では幅が広くなっている。

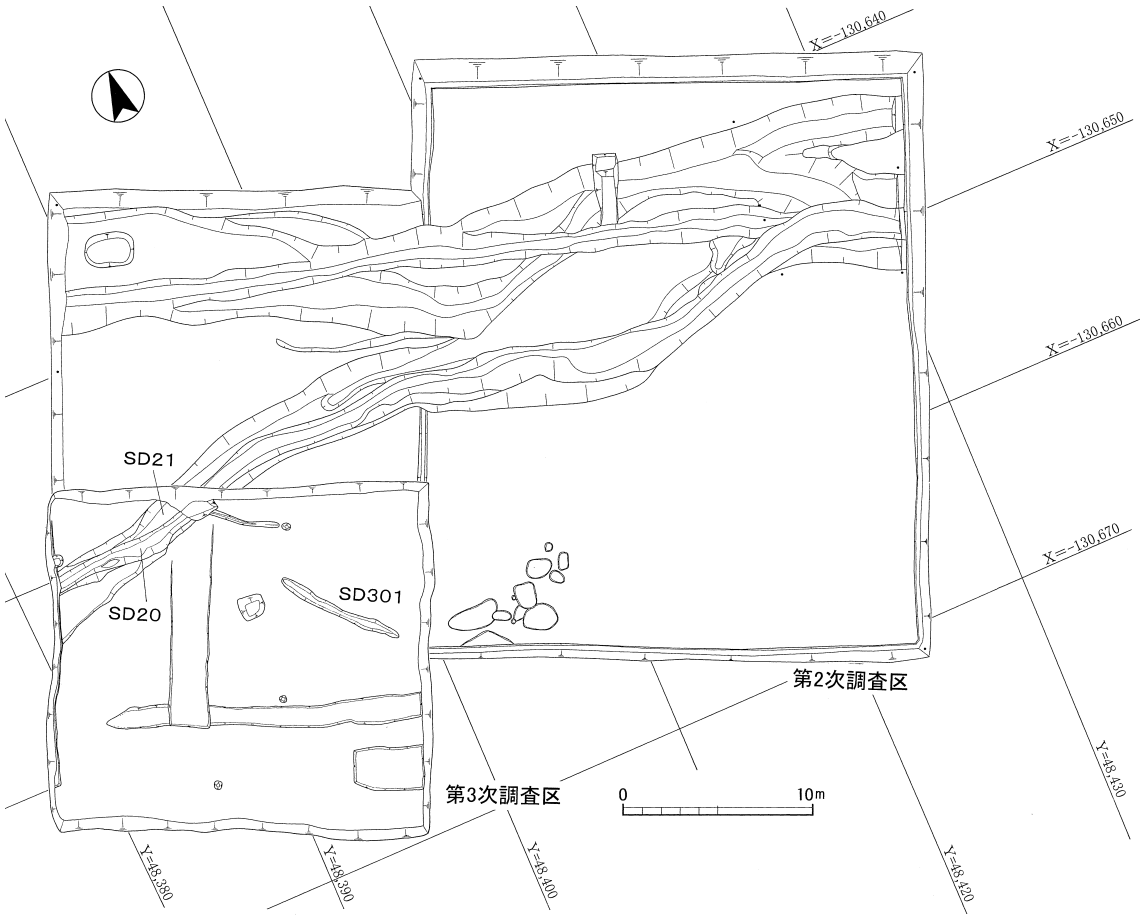
調査区南半は遺構・遺物共に稀薄となり、ＳＤ 20、ＳＤ 21 が遺跡の南限であると考えられる。

註

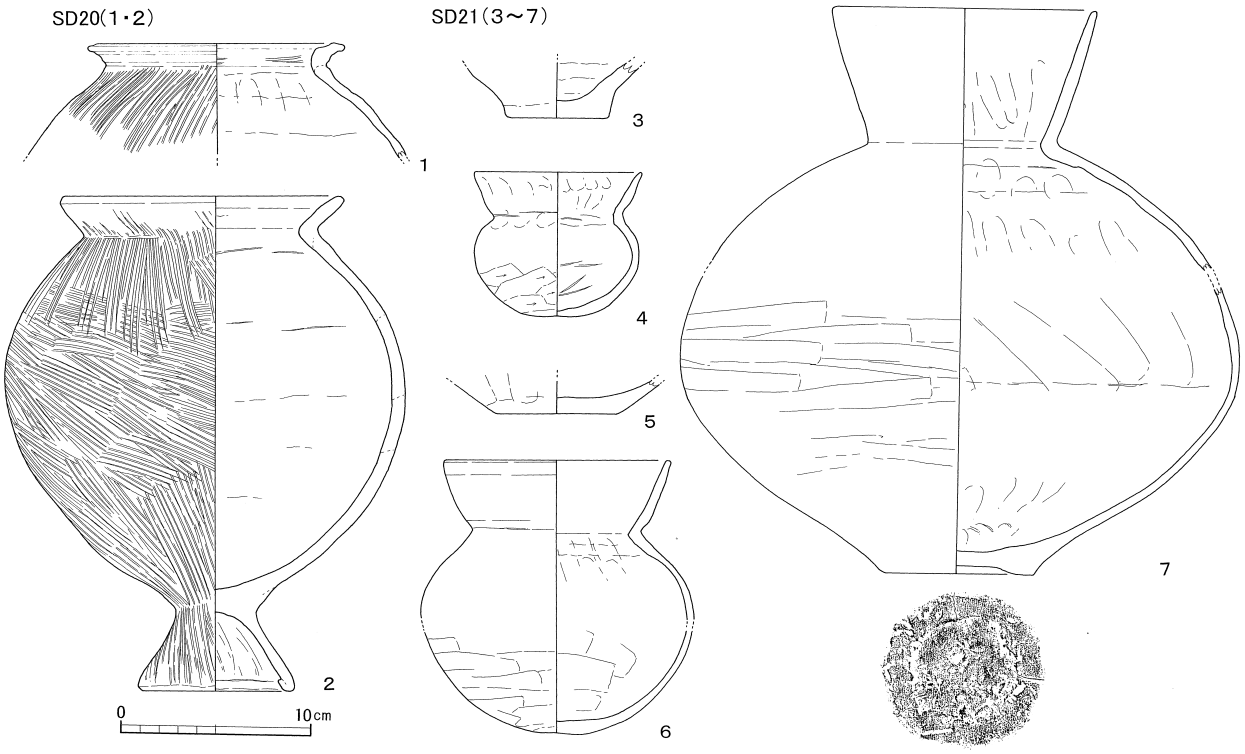
①:三重県埋蔵文化財センター「Ⅱ　森ヶ坪遺跡（第２次）」『一般国道 23 号中勢道路　埋蔵文化財発掘調査概報 25（平成 24・25 年度調査）』2015.2



第４図　森ヶ坪遺跡調査区位置図（1：2,000）



第５図　森ヶ坪遺跡遺構図（1：400）



第６図　森ヶ坪遺跡出土遺物実測図（1：4）

Ⅲ　西毛谷Ａ遺跡（第３次）

１　はじめに

西毛谷Ａ遺跡は、中ノ川と田中川に挟まれた標高約 40 ～ 45 ｍの丘陵上に立地する。

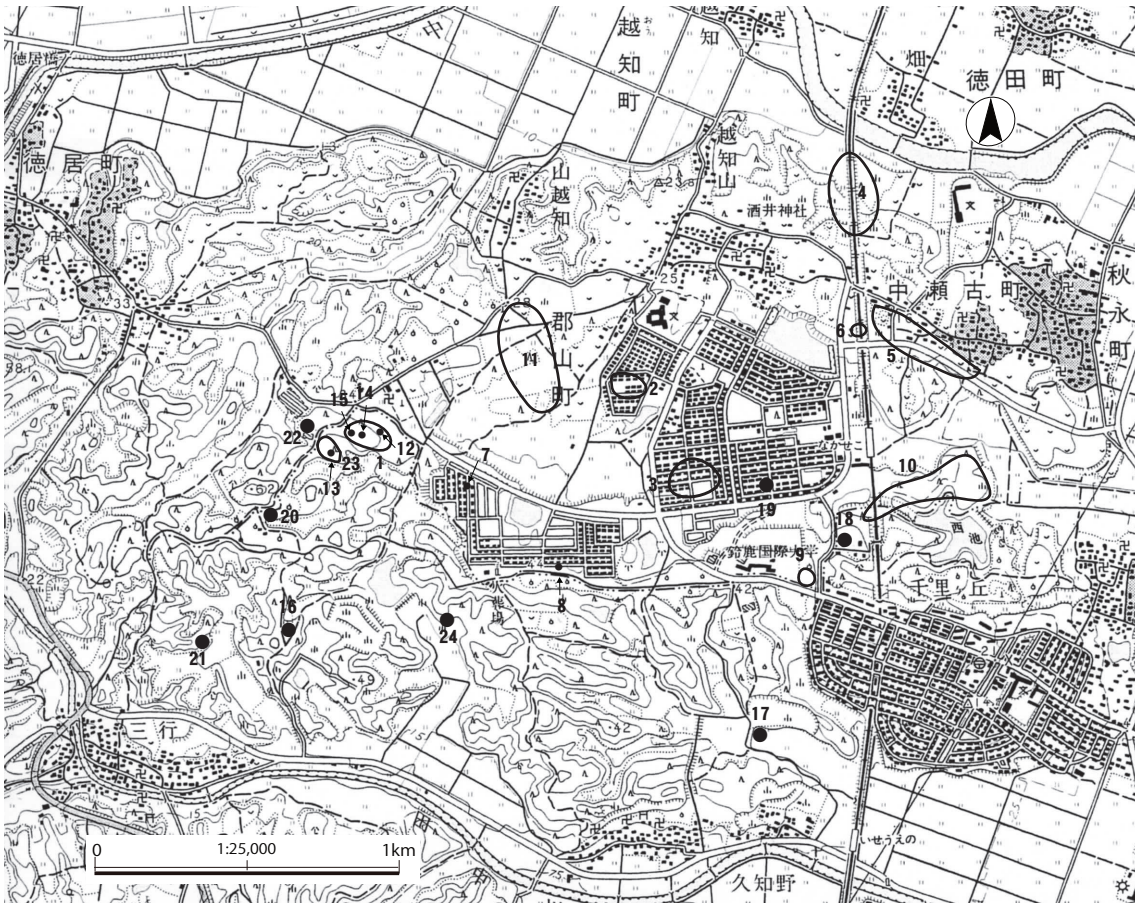
当遺跡の東側は郡山町、西側は徳居町で、鈴鹿市と境を接している。この地域は、縄文時代から古墳時代にかけての遺跡が多く所在している。

西川遺跡（２）からは縄文中期末の竪穴住居２棟が見つかっている。竪穴住居は付近に所在する末野Ａ遺跡でも見つかっている。また、追谷遺跡（３）では石鏃や石匙等の石製品が多く採集されている。

畑遺跡（４）、中瀬古南遺跡（５）からは弥生時代末から古墳時代前期に至る竪穴住居が見つかっている。

古墳時代、５世紀前半から後半にかけては、埋葬施設に粘土郭を有し、武器などの多量の鉄製品が出土した帆立貝式の経塚古墳（６）、円筒埴輪や形象埴輪が出土した西高山１号墳（７）、埴輪列が確認できた同２号墳（８）が築造された。

古墳時代後期になると、前述の首長クラスのものに替わって、群集墳が丘陵や平地に出現してくる。ほとんどが径 10m 前後の円墳である。20 基以上からなる寺谷古墳群（９）、25 基からなる茶臼山古墳群（10）、46 基からなり鈴鹿市南部で最大規模を誇る大野古墳群（11）がその顕著な事例である。



１西毛谷Ａ遺跡　２西川遺跡　３追谷遺跡　４畑遺跡　５中瀬古南遺跡　６経塚古墳
７西高山１号墳　８西高山２号墳　９寺谷古墳群　10 茶臼山古墳群　11 大野古墳群
12 西毛谷北古墳　13 西毛谷南古墳　14 西毛谷北１号墳　15 西毛谷北２号墳
16 徳居 10 号窯跡　17 徳居１号窯跡　18 徳居 34 号窯跡　19 徳居 32・33 号窯跡　20 徳居 12 号窯跡
21 徳居 11 号窯跡　22 徳居７号窯跡　23 西毛谷Ｂ遺跡　24 徳居９号窯跡

第７図　西毛谷Ａ遺跡周辺遺跡位置図（1：25,000）（国土地理院 1：25,000『白子』）

また、この地域には古墳時代から奈良時代にかけて集落が急増し（郡山遺跡群）、連動するように須恵器が大量に生産されるようになる。徳居窯跡群は県下最大の須恵器生産地で、現在のところ38基の窯跡が確認されている。このように、集落・窯跡・群集墳が密集したこの地域は、生産と消費が近距離で深く結びついた特色を帯びていると言えよう。

西端に西毛谷北古墳及びそれを包括する西毛谷Ａ遺跡（１）も、こうした特色を反映していることが窺える。

河芸町史によると、西毛谷北古墳（12）の丘陵頂部付近から陶棺が出土したとある。現在、墳丘は認められず規模は不明である。陶棺は棺身と蓋からなり、棺身の底には脚台が数多く付いている。規模は全長110cm以上､高さ50cm前後と考えられる。また、杯身・杯蓋、高杯、平瓶等の須恵器が同所から出土しており、それらの形状から西毛谷北古墳は６世紀後半から７世紀代の築造と考えられる。

さらに西毛谷南古墳（13）からは、須恵器甕の制作技術を用いた合口甕棺が出土している。

平成26年度、津市教育委員会によって西毛谷Ａ遺跡内で発掘調査がなされ、新たに２つの古墳が見つかった（西毛谷北１号墳（14）・西毛谷北２号墳(15)）。１号墳は方墳で須恵器甑、甕、蓋杯等が出土した。２号墳は周溝が検出された。１号墳から出土した須恵器は、同年度に津市教育委員会によって発掘調査された徳居10号窯(16)出土のものと同種･同時期であることが明らかとなった。

【参考文献】

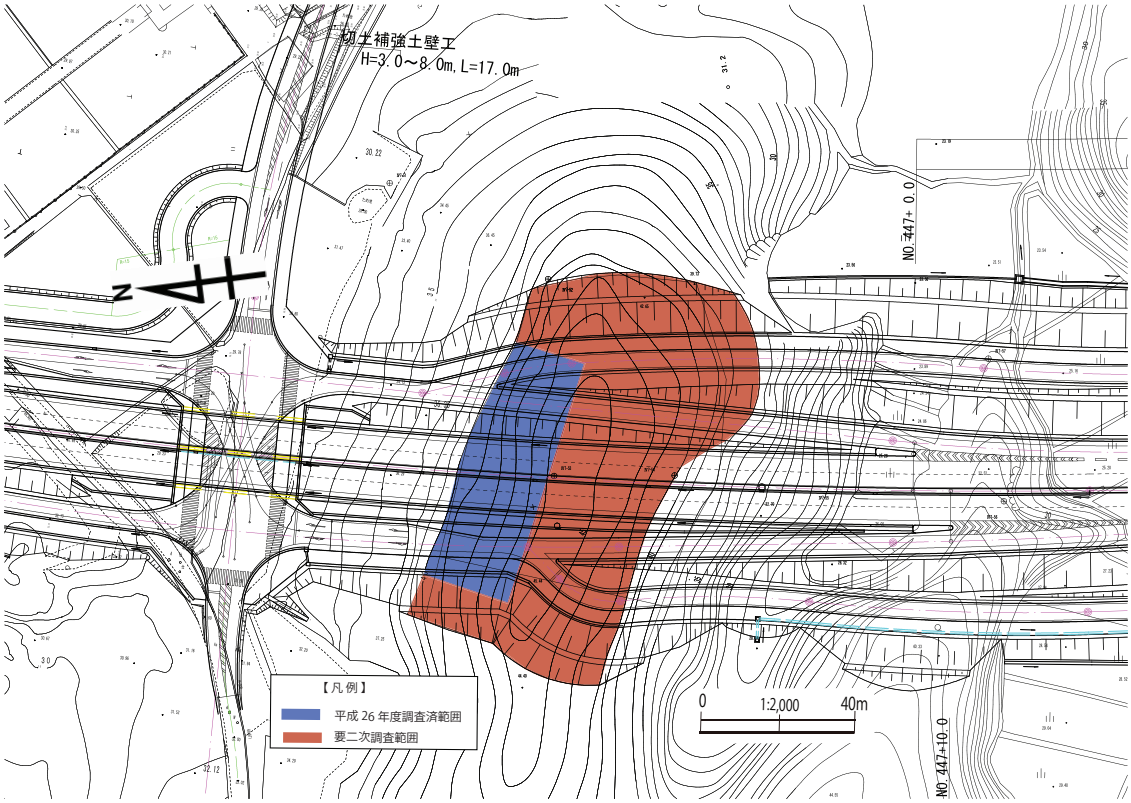
・鈴鹿市教育委員会『第３回鈴鹿市埋蔵文化財展中ノ川流域の考古学』（1993年）

・鈴鹿市考古博物館『平成23年度企画展中ノ川流域の考古学』（2012年）

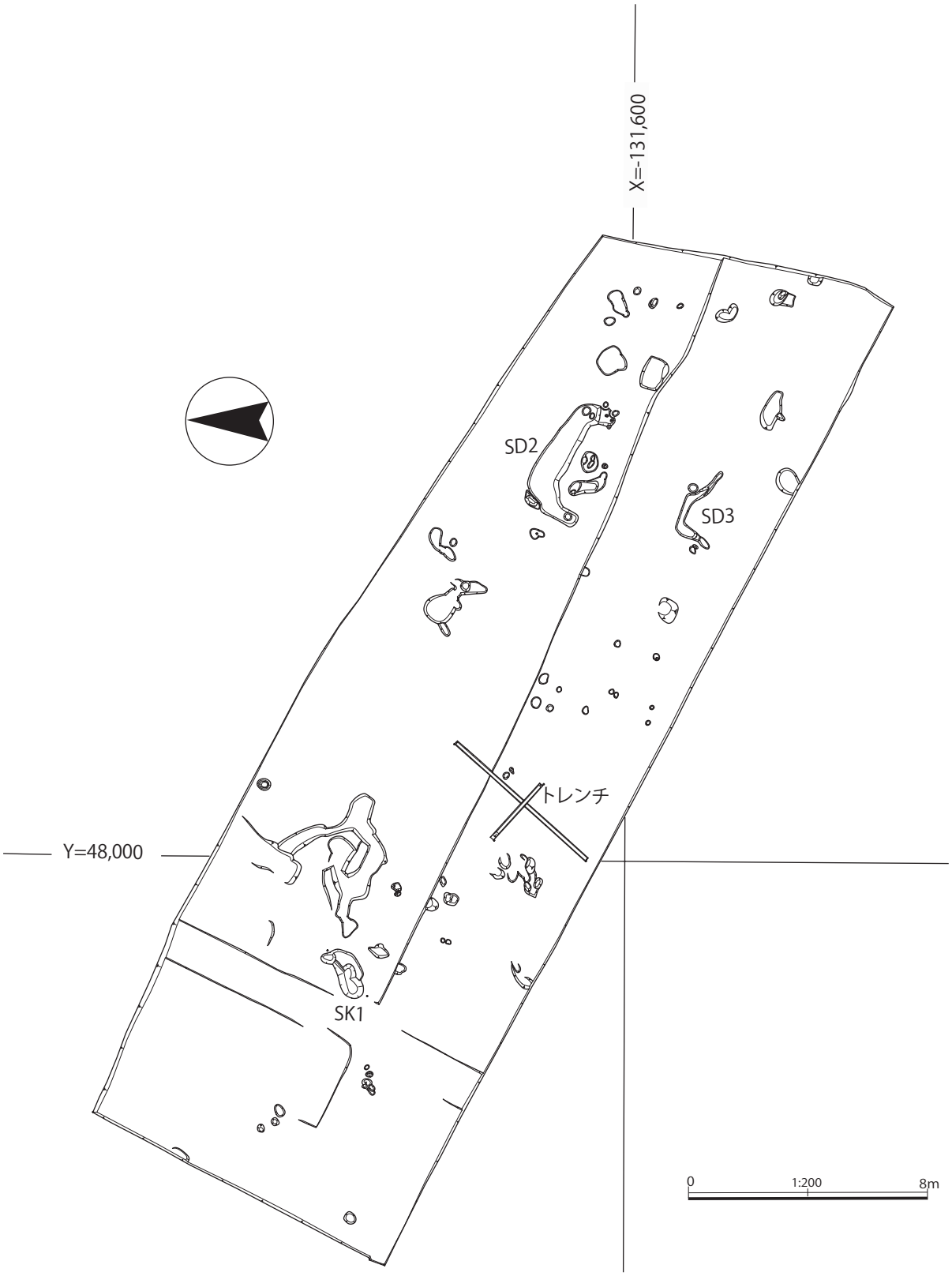
・鈴鹿市教育委員会、鈴鹿市遺跡調査会『郡山遺跡群発掘調査報告書』（1983年）

・河芸町、河芸町史編さん纂委員会『河芸町史資料編』（2012年）

・津市教育委員会『徳居10号窯跡発掘調査現地説明会資料』（2014年）



第８図　西毛谷Ａ遺跡（第３次）調査区位置図（1：2,000）



第９図　西毛谷Ａ遺跡（第３次）遺構図（1：200）

２　調査の概要

【基本層序】

概ね標高 40 m以上となる丘陵頂部は、上から１表土、２黄褐色粘質土、３明褐色粘質土（地山）となる。検出面は頂部付近で表土下 20cm、裾部で表土下 60cm 程度である。

【遺構】

ＳＫ１

標高 41m から 42.2m の間に所在し、方形状である。規模と深さは、長辺 3.5m、短辺 1.7m、深さ 0.6m である。

遺物は出土しなかった。

ＳＤ２

標高 39.4m から 41.2m の間に所在し、方形に半周する形状を有する。規模と深さは、西側４m・北側７m・東側２m である。古墳周溝である可能性が考えられるが、削平されているため浅く、遺物も確認できなかったため、決め手に欠ける。

ＳＤ３

標高 42.8m から 43.8m の間に所在し、方形に半周する形状を有する。規模と深さは、西側１m・北側４m である。古墳周溝である可能性が考えられるが、削平されているため浅く、遺物も確認できなかったため、決め手に欠ける。

【まとめ】

調査に入る前から、丘陵一帯では、須恵器や陶器の小片が多数散見されていた。

調査区では、土坑や溝などが検出されたが、前述のように削平が著しく遺構としての決め手に欠けた。また、土が赤く変色している箇所が見られたので、十字方向にトレンチを設定して、土層を確認したところ、地山の一部が変色したものであり、遺物も出土しなかった。

なお、遺物については、調査中において、微細なものを多数確認したが、図化できるものはなかった。

今回調査した北側斜面は遺構密度としては非常に希薄であった。南側斜面については、一次調査の結果から、古墳に伴うと思われる溝や土坑から須恵器壺が見つかっている。

今後、次年度に予定している南側斜面の調査結果も併せ、古墳等の時期や形状、占地等を含めた西毛谷Ａ遺跡の性格を明らかにしていきたい。

写真３　ＳＫ１（南東から）

写真４　ＳＤ２（北東から）

写真５　ＳＤ３（北東から）

写真６　トレンチ（南東から）

Ⅳ　小塚遺跡（一次）

１　はじめに

小塚遺跡は鈴鹿市北玉垣町に所在し、稲生丘陵北東縁に位置する (第２図１)。現況は畑地・水田である。本事業に伴う分布調査により、古墳時代～中世の遺物が確認された。平成 26 年度、対象範囲の一部について一次調査を行った。

２　調査の概要・結果

調査は遺構の広がりや密度､時期の確認を目的に、幅２ｍ、延長 20 ｍのトレンチを１箇所設けて行った。

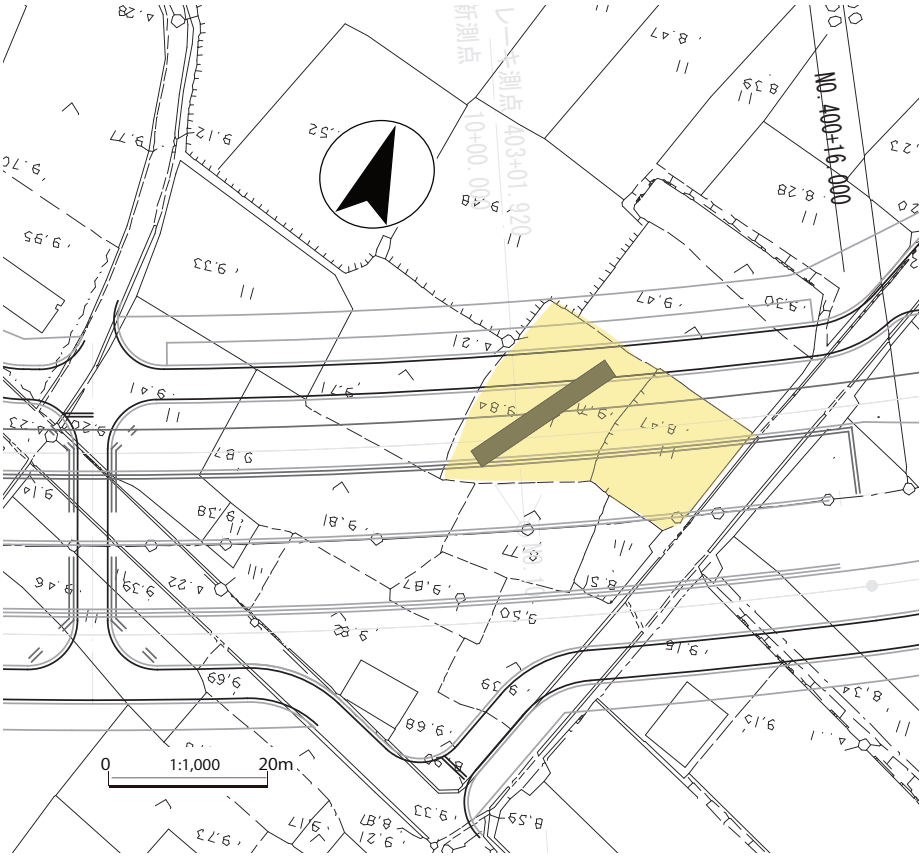
調査区の標高は 10 ｍ弱。基本層序は、第１層：表土、厚さ 10㎝前後、第２層：暗オリーブ灰色粘質土、厚さ 10㎝前後、第３層:赤褐色粘質土 (地山･検出面) で、地表から検出面までは 20 数㎝である。

調査の結果、南北方向に延びる幅 40㎝ほどの溝６条及び土坑を検出した。溝は耕作に伴うものとみられるが、時期は不明である。

遺物は土師器小片数点にとどまった。

以上の結果、調査範囲の約 300㎡について二次調査が必要と判断した。

写真７　Ｈトレンチ（南西から）



第 10 図　小塚遺跡（第１次）調査区位置図（1：1,000）

Ⅴ　石垣遺跡（一次）

１　はじめに

石垣遺跡は、鈴鹿市末広北１丁目に所在し、稲生丘陵上に位置する(第２図２)。現況は水田及び畑地である。本事業に伴う分布調査で、古墳時代～中世にかけての遺物や、調査地南端に土塁状の高まりがあることが確認された。平成26年度は対象範囲の一部について一次調査を行った。

２　調査の概要・結果

調査は遺構の広がりや密度、時期の確認を目的に、幅２ｍのトレンチを６箇所設けて行った（総延長105ｍ）。

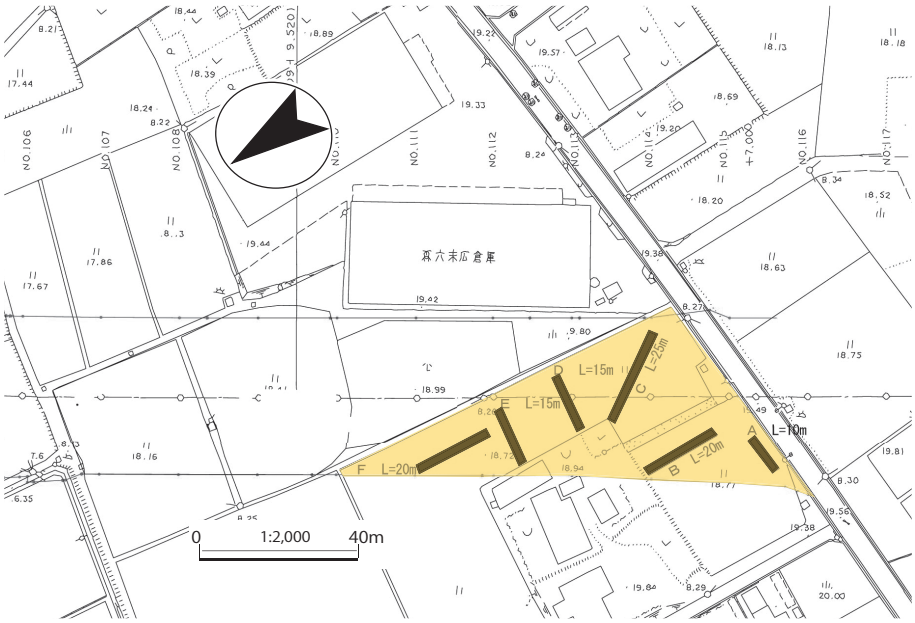
基本層序は、第１層：耕作土、厚さ15㎝前後、第２層：暗褐色粘質土、厚さ20㎝前後、第３層：暗褐色粘質土(地山・検出面)で、地表から検出面までは20数㎝である。

調査の結果、Ａ・Ｃトレンチでピット、Ｂ・Ｄ～Ｆトレンチで溝、土坑、ピットなどを検出した。遺物はほとんど確認できなかったため、遺構の時期などは不明である。

以上の結果、調査範囲の約2,800㎡について二次調査が必要と判断した。

写真８　Ｂトレンチ（南から）

写真９　Ｆトレンチ（南西から）



第11図　石垣遺跡（第１次）調査区位置図（1：2,000）

Ⅵ　大野南遺跡（一次）

１　はじめに

大野南遺跡は鈴鹿市郡山町に所在し、中ノ川と田中川に挟まれた標高約 30 ｍの台地上に立地する（第３図 14）。現況は水田及び山林である。

２　調査の概要・結果

今回は、幅２ｍのトレンチを７箇所（Ｔ - １～７）設定し、合計 400㎡を調査した（第 12 図）。

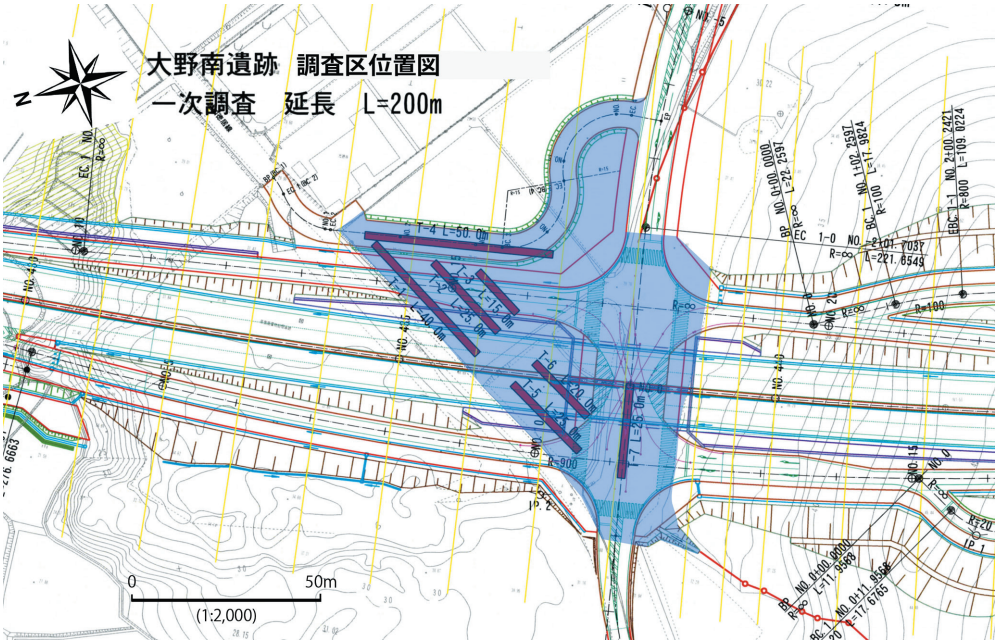
基本層序は、水田部分（Ｔ - １～６）と丘陵部（Ｔ - ７）で大きく異なる。Ｔ - １～６は、概ね上から耕作土、客土、地山（灰黄色粘質シルトに径４㎜以下の礫多く混）となり、地表から 15 ～ 55cm で地山が確認された。Ｔ - ７は、上から表土、黄褐色砂質土、黄褐色粘質シルト（径５㎜以下の礫混）、地山（明黄褐色粘質シルト鉄分多く含む）であり、地表から 50 ～ 96cm で地山が確認された。地山までの深さは西へ行くほど浅くなっていた。

調査の結果、Ｔ - ４で谷状の落ち込みが確認されたが、その他のトレンチでは遺構・遺物共に確認できなかった。

もともと西から東、及び南から北へ下る緩やかな傾斜地であった場所を切土・盛土して、水田に利用していたとみられる。

写真 10　トレンチ４落ち込み（北から）

写真 11　トレンチ７（北東から）



第 12 図　大野南遺跡（第１次）調査区位置図（1：2,000）

Ⅶ　西毛谷北古墳・西毛谷Ａ遺跡（一次）

１　はじめに

西毛谷北古墳並びに西毛谷Ａ遺跡は津市河芸町杜の街に所在し、中ノ川と田中川に挟まれた標高約40～45ｍの丘陵上に立地する（第３図67・69）。現況は山林である。

２　調査の概要・結果

今回は、幅２ｍのトレンチを７箇所（Ｔ-１～７）設定し、合計1,100㎡を調査した（第13図）。

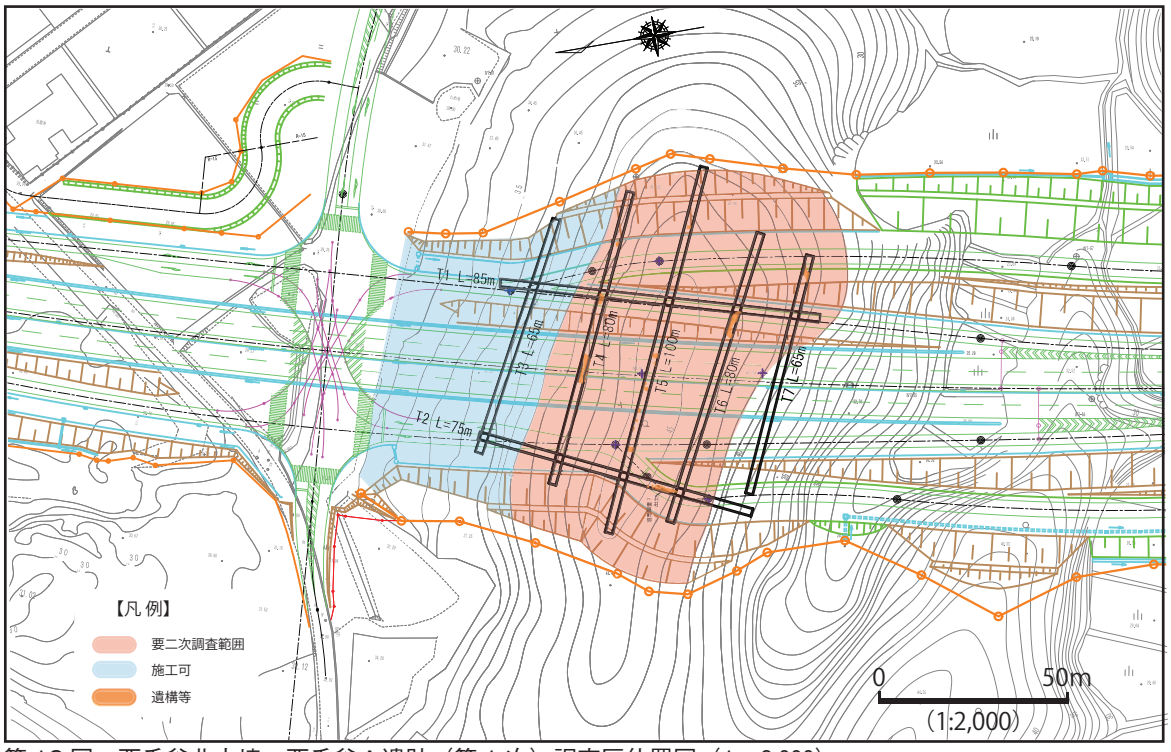
標高40ｍ以上となるＴ-４～６、Ｔ-１・２・７の一部では、上から表土、黄褐色粘質土、明褐色粘質土（地山）となり、表土下15～50cmで溝･土坑･ピットなどを検出した。Ｔ-２の土坑から壺とみられる須恵器の出土、Ｔ-６で検出した溝の形状から、いずれも古墳に関わる遺構である可能性が高い。

丘陵北側裾部となるＴ-３、Ｔ-１・２の一部は、上から表土、黄褐色粘質土、黄褐色粘質シルトに径５㎜以下の礫混、明黄褐色粘質シルトに鉄分多く混（地山）となり、遺構・遺物共に確認できなかった。

調査状況から、標高40ｍ以上の丘陵頂部6,000㎡を二次調査対象範囲とした。

写真12　トレンチ２溝検出状況（南東から）

写真13　トレンチ２須恵器出土状況（東から）



第13図　西毛谷北古墳・西毛谷Ａ遺跡（第１次）調査区位置図（1：2,000）

報　告　書　抄　録

ふりがな	いっぱんこくどうにじゅうさんごうちゅうせいどうろまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいほうにじゅうろく
書　　名	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報26
副 書 名	
巻　　次	
シリーズ名	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報
シリーズ番号	26
編 著 者 名	長谷川哲也　　原田恵理子
編 集 機 関	三重県埋蔵文化財センター
所　在　地	〒515－0325　　三重県多気郡明和町竹川503　　℡　0596-52-1732
発行年月日	2016（平成28）年2月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
こつかいせき 小塚遺跡	みえけんすずかしきたたまがきちょう 三重県鈴鹿市北玉垣町	207	1161	34° 51′ 52″	136° 35′ 45″	2014. 10. 14～ 2014. 10. 14	一次調査 40	一般国道23号 中勢道路建設
いしがきいせき 石垣遺跡	みえけんすずかしすえひろきたいっちょうめ 三重県鈴鹿市末広北１丁目	207	1162	34° 51′ 40″	136° 33′ 55″	2014. 10. 15～ 2014. 10. 17	一次調査 210	一般国道23号 中勢道路建設
もりがつぼいせき 森ヶ坪遺跡	みえけんすずかしみそのちょう・おうちちょう 三重県鈴鹿市御薗町・越知町	207	1167	34° 49′ 25″	136° 31′ 51″	2014. 6. 5～ 2014. 7. 29	第３次調査 325	一般国道23号 中勢道路建設
おおのみなみいせき 大野南遺跡	みえけんすずかしこおりやまちょう 三重県鈴鹿市郡山町	207	678	34° 48′ 20″	136° 31′ 32″	2014. 7. 18～ 2014. 8. 7	一次調査 400	一般国道23号 中勢道路建設
にしもうたにきたこふん 西毛谷北古墳	みえけんつしかわげちょうもりのまち 三重県津市河芸町杜の街	201	c1	34° 48′ 14″	136° 31′ 28″	2014. 8. 22～ 2014. 9. 18	一次調査 1,100	一般国道23号 中勢道路建設
にしもうたにえーいせき 西毛谷Ａ遺跡	みえけんつしかわげちょうもりのまち 三重県津市河芸町杜の街	201	c170	34° 48′ 14″	136° 31′ 14″	2014. 8. 22～ 2014. 9. 18		一般国道23号 中勢道路建設
						2014. 10. 17～ 2015. 2. 12	第３次調査 1,516	

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
小塚遺跡	散布地	古墳、飛鳥、奈良、平安、中世	土坑、溝	土師器片、陶器片	
石垣遺跡	散布地	古墳、飛鳥、奈良、平安、中世	ピット、土坑、溝	なし	
森ヶ坪遺跡	散布地	縄文、弥生、古墳、飛鳥、中世	溝	縄文土器・弥生土器・土師器・木杭	
大野南遺跡	散布地	古墳	なし	なし	
西毛谷北古墳	古墳	古墳	溝（古墳周溝）、土坑、ピット	須恵器：壺片、甕体部片、近世陶磁器片	
西毛谷Ａ遺跡	古墳	古墳	溝（古墳周溝）、土坑、ピット	須恵器：壺片、甕体部片、近世陶磁器片	
			溝（古墳周溝か）、土坑等	須恵器片、近世陶磁器片、砥石等	

要約		
	小塚遺跡	稲生丘陵より続く台地の北東縁に位置している。調査の結果、土坑や溝が検出された。遺物としては、土師器片、陶器片が出土した。
	石垣遺跡	丘陵上に立地する。調査の結果、ピット、土坑、溝が検出された。遺物は発見されなかった。
	森ヶ坪遺跡	中ノ川中流域の右岸の沖積地に立地する。調査の結果、平成25年度に実施した第２次調査で検出した弥生時代後期及び古墳時代前期の溝の続きを確認した。遺物としては縄文土器、弥生土器、土師器、木杭が出土した。
	大野南遺跡	中ノ川と田中川に挟まれた台地上に立地する。調査の結果、遺構・遺物ともに発見されなかった。
	西毛谷北古墳	中ノ川と田中川に挟まれた丘陵上、西毛谷Ａ遺跡内に立地する。調査の結果、溝（古墳周溝）、土抗、ピットが検出された。遺物としては、須恵器：壺片、甕体部片、近世陶磁器片が出土した。
	西毛谷Ａ遺跡	中ノ川と田中川に挟まれた丘陵上に立地する。調査の結果、溝（古墳周溝）、土抗、ピットが検出された。遺物としては、須恵器：壺片、甕体部片、近世陶磁器片が出土した。続いて実施した第３次調査でも、溝や土抗等が検出された。遺物としては須恵器片、近世陶磁器片、砥石等が出土した。

一般国道 23 号　中勢道路

埋蔵文化財発掘調査概報 26

２０１６（平成 28）年　２月

編集・発行　　三重県埋蔵文化財センター
印　　刷　　(有)ミフジ印刷